

プログラムの概要

団体名 横浜市立大学医学部看護学科

目的 実際に基礎教育・卒後教育で使用されている
シミュレータを使って医療者体験をしてもらい、
医療従事者の仕事をイメージして興味・関心を深めてもらう。

日時 2022年8月17日（水）13-15時

会場 横浜市立大学附属病院シミュレーションセンター

参加者 児童：24名、きょうだい：4名、保護者：25名

内容 オリエンテーション・講話
体験

- ▶ 感染予防
- ▶ 身体診察（呼吸音聴取、エコー）
- ▶ 一時救命処置

ふりかえり会

シミュレータで医療者体験をしてみよう



感染予防



身体診察：
エコー



一次救命処置



身体診察：
呼吸音聴取



講話

体験の様子

8グループに分かれて
各体験ブースをラウンドしました。



ふりかえり会

- 「一番楽しかった体験とその理由」をテーマに、まずは、個人でふりかえりをし、その後、各グループ（3-4人）で内容を共有し、最後に、各グループの代表者が発表しました。
- 実際に出た意見の例：
 - ▶ テレビで見たことがある医療処置の方法を実際に知ることができてよかった。
 - ▶ 自分でいろいろと動けるものが楽しかった。



プログラムを終えての感想

• 団体の感想

- ▶ 最後のふりかえり会で各ブースの実体験から医療や看護に興味を持ってくれたことがわかり、有意義な時間を提供できたのではないかと感じました。
- ▶ 今回の体験やシミュレーションセンターの様子を見て、本学看護学科に興味を持ち将来の目標を持ったお子さんがいらっしやり、小学生のうちから大学という場に触れる機会を提供する重要性を感じました。

• コーディネータの感想

- ▶ 今後社会の一員として仕事をする自分をイメージすることができ、大変貴重な経験になりました。聞き手の興味を引くためには表現の仕方や言葉選びが重要だということを再認識できたので、今後の様々な活動に活かしていきたいです。